

平成29年度第4回大人のためのブックトークを開催しました

平成29年11月18日（土）、今年度4回目の「大人のためのブックトーク」を開催しました。今回はノーベル文学賞を受賞して話題になった本からまだ未発行の本まで多岐に渡る本が紹介されました。

小林昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク



＜当日紹介された本＞

「わたしを離さないで Never Let Me Go」

カズオ・イシグロ著 土屋政雄訳

早川書房（2006年）

イギリス某所にある寄宿舍。かつて自身が育ち、今はそこで介護人を務めている女性が回想する、寄宿舍に秘められた物語とは。2017年ノーベル文学賞を受賞した作家、カズオ・イシグロ氏の代表作。

「能 650年続いた仕掛けとは」

安田登著 新潮新書（2017年）

能楽師には長寿が多い。それは能の動きや発声などの呼吸が健康に一役買っているから…？ 能と健康についてや、夏目漱石、松尾芭蕉といった人物との関係、チケットの取り方など、能に関係する様々な内容をワキ方として活躍する能楽師が紹介する一冊。

「広辞苑 第七版」

新村出編 岩波書店（2018年 予定）

戦後すぐに初版が出版された広辞苑。毎回1万語ほどが増えているにも関わらず、本の厚さが変わらないのは紙を薄くし、代わりにチタンを入れて薄くても透けないように対策しているからなのだから。

電子辞書は知りたい言葉が一発で引けるけれど、紙の辞書だと目的の言葉以外に目移りしてつい脱線…なんてことはありませんか？ 紙の辞書は素敵な読み物なのですね。



岐阜県図書館 寺井富之司書によるおすすめ本の紹介



「発酵文化人類学

微生物から見た社会のカタチ」

小倉ヒラク著・イラスト 木楽舎（2017年）

「くう・ねる・のぐそ 自然に「愛」のお返しを」

伊沢正名 山と溪谷社（2008年）

「特集 新しい食

未来をつくる、フード・スタディーズ」

『美術手帖 1060号 2017.10』掲載

美術出版社編 美術出版社（2017年）

○感想等

- ・ 広辞苑が斬新で面白かったです。3冊でも盛りだくさんですが、できれば4冊、5冊と小林先生のお話が聴きたいです。(先生が大変になるでしょうけれど…)
- ・ 以前参加させていただき、おもしろかったのです。その後に読みました。まだ出ていない本の紹介をされたので出版されたら読んでみたいです。
- ・ どんな本がおすすめなのか知りたかったので…。今日の話で読みたくなった本があり、ためになった。
- ・ スピード感があり、読んでみたいと思わせられました。ありがとうございました。
- ・ 今回のブックは多面的な内容であった。多面的なもののみかたができています。
- ・ 自分が選ぶ本はかぎられているので違う視点から見た本を知りたいと思って参加しました。おもしろかったです。
- ・ 今回も期待を全く裏切らない内容で本当に興味深く聞かせて頂きました。カズオ・イシグロの紹介は大変タイムリーでまだ読んでいない本もありましたのでぜひ手に取ってみたいと思います。
- ・ 興味深く話がきけて紹介された図書を読んでみようと思います。